



二月 (平) 如月

星宿

二月三日立春の節より
月命庚寅五黄土星の月
暗剣殺なし

旧十二月大
正月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	日出	満潮	干潮
1日	月	かえ	たつ	八白	福井永平寺涅槃会撰心(7日迄)、 旧十二月大	廿	先勝	たいら	畢	天おん	6.41	17.08	20.51	8.58
2日	火	か	の	九紫	節分、豆まき、尾鷲まつり(1日~5日)、 奈良春日大社万灯籠	廿一	友引	さだん	背	天おん	6.40	17.09	21.59	9.29
3日	水	みづ	の	えう	ま	廿二	先負	さだん	参	神よし	6.40	17.10	23.07	10.00
4日	木	みづ	の	えう	ま	廿三	佛滅	とる	井	天おん	6.39	17.12	10.32	11.08
5日	金	き	の	え	さる	廿四	大安	やぶる	鬼	大みやう	6.38	17.13	0.15	11.47
6日	土	き	の	と	り	廿五	赤口	あやぶ	柳	十し	6.37	17.14	1.25	11.47
7日	日	ひ	の	え	いぬ	廿六	先勝	なる	星	●	6.36	17.15	2.34	12.34
8日	月	ひ	の	と	り	廿七	友引	おさん	張	大みやう	6.35	17.16	3.41	13.27
9日	火	つち	の	え	ね	廿八	先負	ひらく	翼	母倉	6.34	17.17	4.43	14.17
10日	水	つち	の	と	り	廿九	佛滅	とづ	軫	きこ	6.33	17.18	5.37	15.30
11日	木	か	の	え	と	卅	大安	たつ	角	ぶく日	6.32	17.19	6.23	16.36
12日	金	か	の	と	り	朔	先勝	のぞく	亢	万よし	6.31	17.20	7.02	17.40
13日	土	みづ	の	え	たつ	二	友引	みつ	氏	大みやう	6.30	17.21	7.36	18.43
14日	日	みづ	の	と	み	三	先負	たいら	房	ぢう日	6.29	17.22	8.05	19.43

暦日上、二月初頭には「立春」といふ春めいた節日が設けられているが、気候的、気温的には、雪または冷雨の日が多く、まだまだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。

〔冠〕とくこの項に入ることもないが、「立春」は陰暦の正月で、太陽暦を使用する東洋の占いで上の新年の起点とされている。したがって表紙裏の年齢早見表にも説明があるように、立春前日の節分までは、前年の生まれ年になる。

この月は一カ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年に一回閏日がある。

〔婚〕婚礼に直接関係ないが、十四日は「聖バレンタインデー」といって、欧米ではこの日、女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。

もともとバレンタヌス司教の殉教の日であるが、これにギリシア神話の女神のロマンスが重なったものらしい。最近ではわが国でも

15日	月	き	の	え	う	四	佛滅	さだん	心	神よし	6.28	17.23	7.12	18.44
16日	火	き	の	と	ひ	五	大安	とる	尾	大みやう	6.27	17.24	7.33	19.21
17日	水	ひ	の	え	さる	六	赤口	やぶる	箕	月とく	6.26	17.25	8.58	20.41
18日	木	ひ	の	と	り	七	先勝	あやぶ	斗	十し	6.25	17.26	9.51	22.34
19日	金	つち	の	え	いぬ	八	友引	なる	牛	●	6.24	17.27	10.20	—
20日	土	つち	の	と	る	九	先負	おさん	女	母倉	6.22	17.28	10.54	0.28
21日	日	か	の	え	ね	十	佛滅	ひらく	虚	母倉	6.21	17.29	11.32	1.25
22日	月	か	の	と	う	十一	大安	とづ	危	月とく	6.20	17.30	12.16	2.23
23日	火	みづ	の	え	と	十二	赤口	たつ	室	大みやう	6.19	17.30	13.07	3.19
24日	水	みづ	の	と	う	十三	先勝	のぞく	壁	大みやう	6.18	17.31	13.07	3.19
25日	木	き	の	え	たつ	十四	友引	みつ	奎	大みやう	6.16	17.32	15.10	4.11
26日	金	き	の	と	み	十五	先負	たいら	婁	神よし	6.15	17.33	16.17	5.43
27日	土	ひ	の	え	う	十六	佛滅	さだん	胃	神よし	6.14	17.34	17.26	6.21
28日	日	ひ	の	と	み	十七	大安	とる	昂	神よし	6.13	17.35	18.36	6.56

プレゼントするならわしをまねて、女性から男性にわたすチョコレートなどが盛んに売られるようになった。

〔祭〕「節分」は、本来は四季の移り変わる、ときのことというのであるが、とくに暦上の一年の最初の日の立春の前日で、地方によっては旧暦の大晦日(おみそか)として、それぞれ伝統のある行事が行われている。

一般的には「福は内、鬼は外」と福豆(大豆の炒ったもの)をまき、この豆を年齢の数(地方によっては一粒多く)だけ食べる厄よけがある。終(ひいらぎ)の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまき悪鬼を払うので追儺(おにやらい)といふ古くから神社仏閣で、この儀式は男により行われている。

十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。

二十三日は「天皇誕生日」である。令和の年号にふさわしい天皇のご繁栄をお祈り申し上げる。

※「海上保安庁図誌利用第〇二〇三〇一号」
※東京・晴海の満潮・干潮の時刻は海上保安庁刊行の「令和三年潮汐表」から採用したもので、異常な気象の影響は考慮していません。
※行事・休日・祭りは変更になる場合があります。事前に関係諸団体にご確認ください。